

(2) 米穀販売事業者における販売数量（令和6年10月）の対前年同月比は92%（対令和元年同月比では93%。以下カッコ内は同様）です。うち小売事業者向けが85%（86%）、

中食・外食事業者等向けが100%（100%）です。販売価格の対前年同月比は、小売事業者向けが157.0%、中食・外食事業者等向けが121.7%です。

○民間在庫

令和6年10月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、対前年同月差▲45万トンの245万トンとなっています。また、流通段階別でみると出荷段階で対前年同月差 ▲48万トンの187万トン、販売段階で+4万トンの57万トンとなっています。

詳細については、米に関するマンスリーレポート令和6年12月号から御確認ください。

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

★ 令和6年産水陸稲の収穫量について ★

令和6年12月10日に令和6年産水陸稲の収穫量について公表しました。令和6年産水稲の作付面積（子実用）は135万9,000ha（前年産比+1万5,000ha）、うち主食用作付面積は125万9,000ha（前年産比+1万7,000ha）となりました。また、全国の10a当たり収量（1.70mmのふるい目幅ベース）は540kgと見込まれます。

このため、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた主食用の収穫量は679万2,000t（前年産比+18万2,000t）と見込まれます。また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は101と見込まれます。

また、令和6年産陸稲の作付面積（子実用）は320haで、10a当たり収量は256kgとなり、収穫量（子実用）は820tとなりました。

（詳しくはこちら）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/pdf/syukaku_suiriku_24.pdf

★ 米の流通状況等について ★

農林水産省では、昨今の米の需給状況について広くお知らせするため、生産・販売・価格等のデータを集めたページを公開しています。

https://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/r6_kome_ryutu.html

上記ページには以下のようなデータを掲載しています。

- ・米の需給状況の現状について
- ・令和6年産水陸稲の収穫量
- ・スーパーでの販売数量の推移
- ・消費者物価の推移
- 等

★ 令和6年度農林水産関係補正予算の概要 ★

12月17日に成立した令和6年度補正予算のうち、水田農業関連の主な事業の概要については、以下の通りです。

1 畑作物の本作化対策等＜一部公共＞

(1) 畑地化促進事業 450億円

水田を畑地化して畑作物の本作化等に取り組む農業者に対して、畑地利用への円滑な移行を促し、畑作物の需要に応じた生産を促進することを目的として、生産が安定するまでの一定期間、継続的に支援（伴走支援）を行うとともに、畑作物の産地づくりに取り組む地域を対象に、関係者間での調整や畑地化に伴う費用負担（土地改良区の地区除外決済金等）等に要する経費を支援します。

(2) 畑作物産地形成促進事業 160億円

主食用米の需要が減少する中で、主食用米から国産需要のある作物（麦・大豆、高収益作物、子実用とうもろこし）へ作付転換を促し、食料安全保障に資する品目の産地形成を図るため、畑地化等に向けて、実需者との結びつきの下で、水田における麦・大豆、高収益作物、子実用とうもろこしの低コスト生産等に取り組む生産者を支援します。

2 米粉需要創出・利用促進対策事業 20億円

米を原料とした米粉の需要を創出し、着実な利用促進を図るため、米粉商品の開発、利用拡大に向けた情報発信、米粉製品の製造能力強化の取組等を支援します。

3 農林水産物・食品の輸出促進

(1) 新市場開拓プロジェクト事業のうちコメ・コメ加工品輸出推進緊急対策事業 1億円

戦略的輸出事業者による認定品目団体等と連携した日本産コメ・コメ加工品の海外需要開拓・プロモーションや商流確保のための環境整備の取組等を支援します。

(2) 輸出環境整備緊急対策事業のうち輸出先国の規制対応や知的財産保護の取組 0.5億円

輸出先国・地域における国内規制に対応するための取組や海外実需者が求める要件に対応するための認証取得等の取組を支援します。

4 新基本計画実装・農業構造転換支援事業 400億円

食料・農業・農村基本法の改正を踏まえ策定される、新たな「食料・農業・農村基本計画」の着実な実施による、農業の構造転換の実現に向け、地域農業を支える老朽化した共同利用施設の再編集約・合理化に取り組む産地を支援します。

（詳しくはこちら）

<https://www.maff.go.jp/j/budget/r6hosei.html>

★ フードバンクへの政府備蓄米の無償交付を開始します ★

農林水産省では食育の一環として、こども食堂・こども宅食への政府備蓄米の無償交付を行ってきましたが、加えて食育活動を支援するフードバンクへの無償交付を実施（令和7年2月頃に申請受付開始を予定）します。

また、こども食堂・こども宅食への無償交付をさらに利用しやすくする観点から、次のような運用改善を行います。

- ・ こども食堂とこども宅食の交付申請等の統合と提出書類の簡略化
- ・ こども宅食の取組を行う場合及びこども宅食とこども食堂の両方の取組を行う場合は、交付上限数量を 600kg に拡大（詳しくはこちら）

https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/b_taisaku/attach/pdf/241129-1.pdf

★ 東京証券取引所カーボン・クレジット市場において農業分野の売買の区分が新設されます ★

農林水産省は、みどりの食料システム戦略に基づき、J-クレジット制度を活用した温室効果ガスの排出削減活動を推進しています。

2023 年 10 月に東証において開設されたカーボン・クレジット市場では、温室効果ガスの排出削減・吸収量を国が認証した J-クレジットの取引が行われています。これまで、農業分野の方法論に基づく J-クレジットは、同市場において「その他」の区分に分類されておりました。

このたび、昨今のプロジェクト登録件数・認証量の増加等に鑑み、市場の流動性・利便性向上の観点から、農業分野のうち、水稻栽培における中干し期間の延長及びバイオ炭の農地施用に係る J-クレジットの売買の区分が新設されることになり、農業分野の J-クレジットを指定して取引を行うことが可能となります。

売買の区分の変更は、2025 年 1 月 6 日に実施される予定です。

（詳しくはこちら）

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/241206.html

(3) 補助事業に関する情報

★ 引き続き、登録者募集中！「業務用米推進プロジェクト」 ★

（大阪でセミナー&交流会を開催します）

業務用米推進プロジェクトでは、業務用米等（米粉用、加工用含む）の需要に対応するため、安定供給体制の構築を推進します。特設サイトにご登録いただくと、(1) 業務用米に関する情報にアクセス、(2) 参加者同士のネットワーク形成（特設サイト上でコンタクト可能）、(3) 対面イベントへの参加が可能です！

今月 20 日、東京にてセミナー&交流会が開催されました。同様の内容で来月 23 日に

大阪にて開催いたします。ぜひ当プロジェクトへ登録のうえ、ご参加ください！

12月13日時点では、生産者60社、卸業者131社、実需者90社、種子生産者4社、総勢285社の皆様にご登録いただいております！

イベントだけでなく、登録者向けに業務用米に関する情報を発信していますので、情報収集の場としてもご活用いただけます！

○セミナー&交流会

日時：2025年1月23日（木）13時～17時

場所：新大阪ワシントンホテルプラザ（大阪市淀川区西中島5-5-5）

（詳細、プロジェクトへの登録はこちら）

<https://www.gyoumumai-project.com/>（外部リンク）

（4）米の消費に関する情報等

★ 膨らむ米粉の世界 簡単！米粉料理の紹介 ★

クリスマスに年末年始、これからのシーズンにピッタリの米粉レシピをご紹介します！

<焼くまで5分！米粉ピザ>

米粉と豆腐などの材料を混ぜて広げるだけで、あっという間に生地地完成です。外はカリッと中はもちもち。好きなトッピングをして様々なピザを楽しんでみてください。

レシピはこちら：<https://komeko-times.jp/recipe/recipe214/>（外部リンク）

<市販のルウいらず、米粉シチュー>

はじめにお肉や野菜をやわらかくなるまで煮て、コンソメで味つけします。ここに、米粉を牛乳で溶いたものを加えて、ゆっくりかき混ぜながら5～6分ほど加熱します。あっという間にシチューの出来上がり！

レシピはこちら：<https://komeko-times.jp/column/column50/>（外部リンク）

☆その他、米粉のレシピはこちらから！米粉タイムズ：<https://komeko-times.jp/>（外部リンク）

【編集後記】～冬の田んぼにて～

年の瀬が近付き、寒さが日に日に増してきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今月号の担当の最近のマイブームは、休日に電車で郊外に出向き、知らない街を散策することです。田んぼがある地域にもよく行きますが、稲刈り後の田んぼは、人の気配はあまりない一方で、大小様々な鳥がいて、文字通り羽を伸ばした鳥たちの楽園のようだと思います。お米の生産だけではない、生き物の居場所としての田んぼの役割を感じた一場面でした。

★ ご案内 ★▽「やっぱりごはんでしょ！」HP・SNS 是非御覧ください

Instagram、省公式 YouTube チャンネル「BUZZMAFF」で、ごはんの魅力や米粉の活用方法について発信強化中です。是非「いいね！」&フォローをお願いいたします！

(Instagram公式アカウントはこちら)

https://www.instagram.com/gohan_maff/

ユーザーネーム : gohan_maff

(省公式 YouTube チャンネルはこちら)

https://www.youtube.com/playlist?list=PLVc03uX0IwZtHPJonvqm-dPd-iH_TdfD

(ホームページはこちら)

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/gohan.html>

▽メールアドレスの配信変更は以下から手続きできます

配信変更 → <https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/chg.html>

パスワード再発行 → <https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

▽「米に関するメールマガジン」のバックナンバーはこちらから御覧いただけます

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mailmg.html>

★ 編集発行 ★

〒100-8950 東京都千代田区霞が関 1-2-1

農林水産省 農産局 農産政策部 企画課

TEL : 03-6738-8964
